

平成24年度第2回番組審議委員会議事録

1 開催年月日 平成24年11月26日（月）

2 開催場所 CTY本社3階会議室

3 委員の出席

- ① 委員総数 6名
- ② 出席委員数 5名
- ③ 出席委員 小林慶太郎（四日市大学 準教授）
原真由美（民政委員）
服部洋明（メガネの隆明堂 店主）
白藤直人（四日市商工会議所 職員）
山路真一郎（山路工業 代表取締役）
- ④ 欠席委員 藤井博光（ライブハウス フルハウス 店主）
- ⑤ 放送事業者側出席者 塩冶憲司（代表取締役社長）
館克俊（放送制作部部長）
藤田真里（放送制作部 リーダー）

4 議題

- ① 審議番組 番組名 台風情報
放送日 平成24年9月30日
パーソナリティ 大場由香
- ② 報告事項 平成24年度年末年始特別番組について

5 審議概要

エフエムよっかいち番組審議委員会 小林慶太郎委員長の挨拶に続き
弊社代表取締役 塩冶憲司が挨拶
その後、審議番組の視聴・合評が行われた

6 審議内容

委員長：番組視聴の前に番組概要の説明をお願いします。
会社：今回ご視聴いただく番組は、平成24年9月30日に台風17号の
接近に伴い、通常プログラムを変更し放送しました臨時台風情報で
す。ご視聴ください。

番組聴取 台風情報 平成24年9月30日放送分

委員長：みなさんのご意見をお願いします。

委員：番組内で放送している情報はこういったところから入手するものなのでしょうか？

会社：基本的には、四日市市や菰野町など各市町の災害対策本部から災害に関する情報の全般を入手しておりますが、天気は気象庁のホームページを確認、各公共交通機関には直接連絡をするなど、常に新しい、正確な情報を入手できるように努めています。

委員：どのくらいの頻度、間隔で放送しているのでしょうか？

会社：災害の規模や状況にもよりますが、基本的には「15分間放送し、15分間休み」を繰り返していきます。今回は午後2時51分に第1報を放送し、午後5時の第2報、午後5時36分の第3報以降、通常プログラムに戻った午後9時まで、毎時0分、30分に新情報を放送しております。

委員：今回とは違い、もし夜間に起こった場合はどうするのでしょうか？

会社：基本的に人命にかかわるような大規模災害は対応しますし、またそこまでの規模でなかったとしても可能な限り対応いたします。今後、親会社であるシー・ティー・ワイと連携して、より一層防災に注力していきますので、現在徐々に災害時の協力体制を整えつつあります。今回も、事前にシー・ティー・ワイ側の担当者と情報入手方法や人員配置等に関して会議・協議を行い、備えておりました。エフエムよっかいちとしては、災害時に即戦力となれるような地元出身の人員の確保が急務だと思います。

委員：こういった災害情報の入手・発信手段として、さらにフェイスブックやツイッターなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用したりしないのでしょうか？

委員：より多くの人により早く情報を伝達するためにも必要な手段なのかも知れませんが、逆に情報の受け手側としては、情報の信ぴょう性など懸念される点もあります。

委員長：それなら、エフエムよっかいちとして情報を発信すれば問題ないのかもしれない。

委員：例えば、四日市市の危機管理室と情報発信方法の連携・共有はできないのでしょうか？

委員：四日市市のホームページやツイッターなどに、エフエムよっかいちがリアルタイムで災害情報を放送している旨を発信してもらうのもいいかも知れません。

会社：ホームページの充実や、将来的にSNSを利用するなども、今後の課題だと思います。前向きに検討していきたいと思っています。

委員長：防災体制の充実のためにぜひ検討していただきたいと思います。

会社：貴重なご意見をありがとうございました。またご意見がございましたらぜひご教授いただきたいと思います。1時間半にわたり議論をいただき、ありがとうございました。

次回開催日 平成24年12月17日（予定）

7 審議会の答申などに対してとった処置

特になし

8 記事の公示

エフエムよっかいちホームページにて公示